



## 熱き心と情熱を持つて!

宇都宮市 市長 佐 藤 栄 一

**A1**

# 俱楽部

2008.1 新春号

【発行所】  
さとう栄一  
後援会総連合会  
〒321-0954  
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22  
TEL.028-662-3300  
FAX.028-662-5501

新年明けましておめでとうござい  
ます。

皆様のお世話になり、市長として  
4年目の新年を迎えることができま  
した。これもひとえに、日頃よりご  
支援を頂いている皆様のおかげと、  
感謝申し上げますと共に心よりお礼  
を申し上げます。

昨年は、日本中が「謝罪」にあふ  
れた一年でした。特に「偽造」の発  
覚による「謝罪」が繰り返されました。

国民が安心して暮らせる基盤が崩  
れていくような事件や事故があいつ  
いで起こりました。また、社会情勢  
も年金や救急医療などの社会保障制  
度に関する問題や、所得格差や地域  
間・世代間格差などが顕在化し、大  
きな社会問題となるなど、将来の生  
活に対する不安や不透明感などがさ  
らに強まつたと感じさせられる年で  
しました。

このような中、この1年を振り返  
りますと宇都宮市は3月、市町村合  
併により、北関東初の50万都市を実  
現いたしました。

この合併が行政改革に有効な手段

と考え、今後の都市競争にうち勝つ  
ために大きな力になるものと確信して  
おります。

また、資源循環型の都市の構築に  
向け「第一回もつたいない全国大会  
inうつのみや」を開催し環境問題  
の意義と行動を呼びかけ、大いに市  
の取り組みを全国に発信することができます。

中心市街地の活性化もオリオンス  
クエアのイベントや宇都宮城址公園、  
うつのみや表参道スクエアの完成な  
どにより賑わいを少しずつ取り戻し、  
まちなかの通行量も20年ぶりに増加  
いたしました。また、若者の力によ  
りうつのみやの花火大会も4年ぶり  
に復活し、若い世代の行動力と意識  
が高まつてしまいました。継続して  
行政改革、教育改革、農政改革、環  
境問題、公共交通の再構築に取り組  
み、50年、100年先を見据えた持続可  
能な街宇都宮の構築に向け、熱き心  
と情熱を持って働いてまいります。

本年は4年間の任期の集大成として  
全力で取り組んでまいりますので、  
変わらぬご支援とご協力をお願いい  
たします。



古賀志山火災の陣頭指揮を取る佐藤市長

艦ミサイル連隊長、県民生活部の池田喜一危機管理監ら、担当課や消防本部を含め20人以上が出席した。

## 宇都宮市が全国一位に!!

環境保全、経済の豊かさ、社会安定度の全体バランスを調査した初の都市サステナブル（持続可能性）度調査の「50万人以上都市」の部で、宇都宮市が第一位に選出された。財政力のある全国の政令指定都市を抑えてのナンバーワンである。佐藤栄一市長は「大変名誉な事。『もったいない運動』や行政改革などの取り組みが結果につながった」と喜んでいる。佐藤市長の取り組みが全国に認められました。

## ★学校給食費問題 大幅に改善!!

全国い問題を抱いた納付率の確約書の提出など新たな取組を行なうことにより更なる改善に向かっています。平成18年度と比べ、平成19年度は滞納者数、滞納金額ともに約半分へと大幅に改善されました。こういった市長の取組みがマスコミに取り上げられるとともに、社会問題化したことで保護者の納付に対する意識が変わつてきています。今後もPTAとの連携強化、学校教育の広報、情報発信に努め、更なる成果を求めていきます。



### 総合計画審議会の答申を受ける佐藤市長

目指して作業が進んでいる。

市長とまちづくり検討

第五次市総合計画は市民の声を反映させるため、佐藤栄一市長が宇都宮市を5地区に分け全てに出向く市民対話集会を行なつた。

国・県・市による全国でも初めての「災害対策連絡協議会」設立

5月15日夕から16日午前にかけて発生した古賀志山の山林火災で災害発生の15日、効果的な危機管理を目指し陸上自衛隊宇都宮駐屯地で発足した。「国・県・市災害対策連絡協議会（連絡協）」が設立された。



もったいない全国大会のホスト役を務める佐藤市長

3月29日県総合文化センターで開幕した。全国から先進的に取り組む自治体、企業、一般市民ら約1,300人が参加。国連広報センター所長を務める幸田シャーミンさんの基調講演やパネルディスカッショントを通じ、モノを大切にすることで省資源・省エネエネルギー意識を高める「もつたいない運動」への理解を深めた。同大会は運動を推進する宇都宮市などが実行委員会（会長・佐藤栄一宇都宮市長）を組織し、全国で初めて開催した。

# 合併新「宇都宮市」スタート

上河内、河内の両町が合併して、「新・宇都宮市」が誕生した。新市は北関東初の50万人都市。東京から約100キロに位置するなど集積や地域資源などを生かして均衡ある発展を図り、北関東の中枢拠点都市としてさらなる飛躍を目指して

合併の狙いを佐藤市長は、「地方公共団体を取り巻く環境は大変厳しい状況です。急速に進展する少子・行財政改革の推進など、課題が山積みです。これから状況に対応するためには、『最大の行財政

このフォーラムは、日仏の「地方団体と文化」をテーマに、「フランス上院」と、「財団法人 自治体国際協会パリ事務所」の共催で開催されるもので、地方自治体が取り組む事業について発表し、意見交換を行った。佐藤市長は日本の自治体を代表して「文化事業が地域発展にもたらすもの」というテーマで発表し、全世界に向け宇都宮市をアピールした。



「ツバル」にバスを送る佐藤市長と募金活動に取り組んだ仲間たち

全国大会inうつのみや」で、海拔が低く、地球温暖化による海面上昇で水没しかねない国としてツバルが話題となつた。国連広報センター所長幸田シャーミンさんの取り組みに賛同した佐藤市長が、南太平洋に浮かぶ島国ツバルにスクールバスを送ろうと、宇都宮青年会議所（JYC）などに呼びかけ募金活動に取り組み中高生のボランティア団体「宇都宮未来クラブ」の協力を得て募金活動を始め、浄財で中古のバスを今年の1月に現地に送られた。

## ■水没危機の島

フランスのパリで開催された  
「2007年度日仏自治フォーラム」  
に、日本の自治体を代表。

3月25日に完成記念式典が行われた「宇都宮城址（し）公園」。雨の降りしきる中、行政主催の記念式典、市民の会による「宇都宮城復元祭」が行われ、記念式典には来賓として福田富一知事、故前増山市長夫人、「よみがえれ！宇都宮城市民の会」の藤井清会長らが出席した。

佐藤市長は「市民の心のよりどころ、市のシンボルとして活用し、都市の魅力向上へ、市民協働で盛り上げてもらいたい」とあいさつ。

この後、宇都宮城の復元を記念して火縄銃の演武が行われた。

## 宇都宮城址公園オープン



3代にわたる市長のご苦労で宇都宮城完成



新装オープンした表参道スクエア

## うつのみや 表参道スクエアオープン

「うつのみや表参道スクエア」が7月31日、オープンした。「美と健康と癒し」をテーマとする商業施設や市の施設「市民プラザ」などが入居。新たな名所をひと目見ようと、朝から大勢の市民らが訪れた。

佐藤栄一市長も「ここを皮切りに、

中心市街地がよみがえることを期待する」と語った。また、「市民プラ

ザ」内には妖精ミュージアムや子供

からお年寄りまでが交流を楽しめる「ゆうあい広場」がオープンした。

## ★★さとう栄一市長を囲む 女性の集い★★

5月に開催された、うつのみや市民ネットワーク会議主催のゴルフコンペが盛大に開催された。

7月7日2回目となる「さとう栄一市長を囲む女性の集い」が有志の皆様により開催されました。

ホームページをリニューアルしましたので、ぜひご覧ください。

## 全力投球の日々

